



Creative Application A11

東洋思想史2: 東西思想の考察と日本

2023年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

受講のてびき

- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます
解釈違いや、答えのない議論があります
- ・ 前半：1テーマの座学
- ・ 後半：テーマを深める質問と考察
- ・ 気になる点をメモして受講してください

資料の見方

テーマに沿った項目
(座学で説明します)

左の内容に関連した
補足キーワード
(調べ物に役立ててください)

本日のテーマ

- ▶ **東西の思想が行き交う日本 と 私 と 私たち**

日本の仏教1 - 鎌倉仏教の成立

▶ 禅宗の発展

- ▶ 臨済宗の**公案**: 対話から悟りを知る営み
- ▶ 曹洞宗の**只管打坐**: 坐禅の中から悟りを見出す

▶ 念仏仏教の発展

- ▶ 浄土系の念仏: **他力本願**と極楽浄土
- ▶ 高度な修行なしで仏道を志せるため庶民に普及

関連キーワード

- 禅宗, 念仏仏教
- 臨済宗, 栄西
- 曹洞宗, 道元
- 日蓮宗, 日蓮
- 浄土宗, 法然
- 浄土真宗, 親鸞



日本の仏教2 - 禅（只管打坐）

関連キーワード

- 曹洞宗、道元
- 只管打坐、瞑想
- 心身脱落
- 仏教1.0

▶ 坐禅と無我

- ▶ 坐して瞑想し，身体・心から離れる
- ▶ 我を手放し，無我の私に至る
- ▶ ただ在る私が，あるがままを観る



現代日本の思考1 - マインドフルネス

- ▶ **西洋で禅を取り入れたメソッド**
 - ▶ 上座部仏教のサティが由来
 - ▶ “現状の気づき”を受け入れる訓練

- ▶ 瞑想による心のエクササイズ
 - ▶ 論理的・実践的，明確な有効性が認められる
 - ▶ **私の強化による安定化に近い**

関連キーワード

- 上座部仏教
- サティ
- ヴィパッサナー瞑想
- マインドフルネス
- 仏教2.0
- ニューエイジ
- ヒューマンポテンシャル運動

現代日本の思考2 - 西洋的自己と東洋的自己

▶ クリアな主観と観客の私

- ▶ 区別を思考する自己 → クリアな主観
- ▶ 区別を解き放つ自己 → 観客の私

▶ 自己の混乱

- ▶ 区別と解放が入り乱れ, 整理が難しい
- ▶ アンバランスな我と私の表出

関連キーワード

- 個人の思考, 主客
- 思考の結び, メディア化
- メディアモデル
- 西田幾多郎「善の研究」
- 仏教3.0
- ニューエイジ
- ヒューマンポテンシャル運動
- ロマン主義
- 自己承認欲求

現代日本の思考3 - 区別と合一のCreation

▶ 区別を進める思考，合一を指向する精神

- ▶ 西洋に学び，区別の思考を獲得
- ▶ 一方，主客を区別しない合一が馴染む土壌
- ▶ 両者の整理・折衷が肝要

▶ 我々のCreation

- ▶ (色的・物質的)区別をしたCreationにも，
(空的・総体的)合一を内包しているのではないか？

関連キーワード

- 主観と客観
- 主客不可分
- 主客合一
- 西田幾多郎「善の研究」
- 色即是空、空即是色
- 我と無我

東西の思想が行き交う日本と私と私たち

- ▶ **区別と合一の混乱から、折衷と連携へ**
 - ▶ 分けるより解き放つのが得意な感性を活かす
 - ▶ 自己を、適切に区別し、適切に合一する折衷
 - ▶ 他者も、適切に区別し、適切に合一する折衷
- ▶ **有機的な合一を目的とするメディア学**

本日の議論・考察一助

- a. 只管打坐とマインドフルネスの相違点はなにか
- b. 我をバランスさせた区別と合一の例はあるだろうか
- c. その他、今回の内容で深めたいところがあれば

次回予定

- ▶ **美のメディア論1：メディアモデル - 存在と美**

参考文献

1. 藤田一照, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
2. 藤田一照, 永井均, 山下良道, 「仏教3.0を哲学する」, 春秋社, 2016
3. 飲茶, 「史上最強の哲学入門」, 河出文庫, 2015
4. 飲茶, 「史上最強の哲学入門 東洋の哲人たち」, 河出文庫, 2016
5. 西田幾多郎, 「善の研究」, 青空文庫, 1979
6. 藤田正勝, 「日本哲学史」, 昭和堂, 2018
7. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
8. 井筒 俊彦, 「イスラーム文化 - その根底にあるもの」, 岩波書店, 1991
9. 伊東 俊太郎, 「十二世紀ルネサンス」, 講談社学術文庫, 2006
10. 竹田 青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
11. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018